日本キリスト教団 **東金教会〔２９〕**

2017年7月16日 聖霊降臨節第７主日礼拝

年度目標 《神と共に闘う信仰者》

聖句 しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。 エフェソ書６章１３節

【礼拝式次第】

司式	土屋
奏楽	中里
受付	本澤
案内	本立
名札係	足中
礼拝感謝祈祷	宮延
〃 〃	安
前奏	中里
讃美歌５８	一同
使徒信条５６６	〃
交読文２９	司・会衆
主の祈り５６４	一同
聖書 ローマ書１２：９～21	司会者
祈祷	土屋
讃美歌１６８	一同
み言葉の伝え 「裁きでなく祈りを」	朴貞蓮
讃美歌３１４	一同
献金	
礼拝感謝	安延
〃 〃	早乙女
報告	土屋
頌栄５４１	一同
祝祷(派遣)	中村征一郎
後奏 新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 7月19日(水)午後7時半
早天祈祷会 月-金7時(除祭日)メーヤー館
交わり会 本日礼拝後
婦人会・信交会 本日交わり会後
青年会 本日交わり会後
聖書輪読会 7月23日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 7月23日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日は朴 貞蓮牧師が講壇をお守りしました。尚、７月３０日は梅田與四男先生が講壇をお守りします。ご加祷下さい。

☆「朱鷺が峯」の原稿を募集しております。今回は「朴貞蓮牧師就任特集号」としての発刊です。先生のご就任に対するお祝いや希望、今後の東金教会についてのご意見等が原稿の中心です。もちろんこれ以外の原稿も大歓迎です。宜しくお願い致します。

☆明17日(月・海の日)メーヤー館にて「東総分区信徒の交わり」を持ちます。東総分区各教会より皆さんが集まります。東総分区は小さな教会が数個だけの分区です。それだけに分区内の集まりは大切です。是非皆様お集まり下さい。今年はルターによる宗教改革５００年の時であり、当時の讃美歌を讃美しつつ、1500年代以降の教会と讃美歌の関わり等を齋藤律子姉(九十九里教会員)にご講演いただきます。説教は梅田與四男先生がご担当です。お弁当持参。是非お出かけ下さい。

☆夏期献金をお覚え下さい。

☆中村牧師の夏期における集会の休会は，8/9、8/16及び8/23の祈祷会です。宜しくお願いします。

【臨時長老会報告】

日時…2017.5.21 場所…教会事務室
出席…中村牧師 土屋 (書記) 岡村 安延
議事…①朴貞蓮教師就任歓迎会の件 ②転会者の件

【7月16日～7月22日の誕生者】

○ 土肥 姉 ○松戸 姉 ※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(７/９)	２１	32	53
聖研祈祷会(7/12)	3	4	7
聖書輪読会(７/９)	2	2	4
教会学校(７/９)	7	10	17

早天祈祷会

日	男	女	計
7/10	1	2	3
7/11	1	2	3
7/12	1	2	3
7/13	1	2	3
7/14	1	2	3

主日礼拝献金(7/9)……34，923円
教会学校献金(7/9)……16，710円

【今日のメッセージ】

題［裁くより祈りを］
聖書 歴代誌下６：１７～２１

1.

2.

3.

【次週(7月23日)礼拝案内】

題 [思いを一つに]
聖書 ローマ書１２:9～２１
交読文 ２９
讃美歌 ５５番 ５０８番
新聖歌 １５１番

【次週(７月２３日)礼拝当番者】

御言葉の伝え	… 中村征一郎
司式者	… 宮延
奏楽者	… 中里
受付者	… 阿部
案内者	… 安田
名札当番	… 藤林
礼拝感謝祈祷	… 安延
〃 〃	… 早乙女
cs お話し	… 戸波
会堂清掃者	… 幼稚園教諭
〃 〃	…
花係	… 小林
看板書き	… 藤田

【聖書から】

自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。

ローマ一二章一節

「いけにえ」とある。それは神に献げる供物のことである。古来より人は聖なる存在に対し、人として出来る限りの献身の思いを、具体的な物質を献げることを持って現して来た。その献げものの中でも最も相応しい献げもの、それは自分自身だ、と言うのである。そして確かに、これ以上の献げものはない。パウロは聖書の神が私たちに求めるのはまさにこれだと言う。私たちの全て、体も心も、一日一日の具体的な歩みも、その全てを神に捧げよ、と言う。もちろんそれは私たちの命を奪い、死した体となれ、と言う意味ではない。この地上の生の全てを神のために用いるようにして生きよ！と言う意味である。神に対して忠誠を尽くして生きよ！これが神の求めなのである。

しかしこれは何と難いことであろうか。実際にこれをすることは不可能ではないか。日々の歩みを振り返れば一日として、否、一時間としてそのような生き方を出来ないのが私たちである。しかし神は、そうであるが私たちを承知でこのような生き方を求められる。そしてそれは完成体としてのそれではない。一日の何処を探っても、一年、十年、生涯の何処を探っても全き忠誠があるのではない。ただそれを求めて前進する生を求められるのである。私たちは神の求めに達することはできないとしてもそれを求めて生きることは出来る。もちろん挫折することはある、大きな過ちに顔を伏せることもある、無力感に苛まれ何も出来ないこともある。しかし神はそのような私たちを立たせ、前進させてくださる力を持ちたもう御方である。パウロは「あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えていただき」と語っている(12・２)。神は変えて下さる。萎えた心、地につく思い、過去に囚われた思いを変え、神を目指す心、神の国に踏み出す心に変えて下さる。信じて歩んで行きたい。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。